

学校 教育 目標	○柔軟な見方考え方をもち、好奇心豊かに学び続ける子を育てます。(知)				
	○自他の良さに気づき、思いやりの気持ちをもつ子を育てます。(徳)				
○豊かな心と健やかな体をもち、命を大切にすることを育てます。(体)					
○自分の行動に責任をもち、地域とともに生きる子を育てます。(公)					
○自分の気持ちを素直に表現し、様々な社会の変化に対応できる子を育てます。(開)					
学校 概要	創立 43 周年	学校長	皆川 誠	副校長	松本 真理
	児童生徒数: 373 人	主な関係校: 金沢中学校			
				2 学期制	一般学級: 12 個別支援学級: 3

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	金沢中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<自分づくりに関する力> <言語能力>	金沢中学校 金沢小学校 八景小学校 文庫小学校 釜利谷東小学校	課題解決のために協力する子ども 他人を思いやり、地域社会に貢献しようとする子ども ・社会性や協働性、課題解決能力やコミュニケーション能力を高めるために、地域や社会、自然等と触れあう豊かな体験を通じて、様々な人々と関わりながら、探究的な学習を行う。 ・社会で働いている人々や行われていることの本質に触れたり、働くことの意義や喜びを感じたりできるように職場体験や職場見学を行う。

中期 取組 目標	○子ども一人ひとりを大切に、互いを認め合える人づくりを進めます。
	・主体的に取り組むことができるような学習過程を工夫し、学習の楽しさやその達成感を十分に味わわせます。 ・気持ちのよい挨拶を通して互いを尊重し合う意識を高め、安心して楽しい学校生活を送れるようにします。 ・心と体の健康を意識し、健康的な生活習慣が形成できるようにします。 ・まちの「人」とのつながりを意識し、豊かな体験を通して、まちを愛する心を育てます。

重点取組分野	具体的取組
確かな学力	①自分ごととして取り組み、思いや考えを伝え合い、自分自身を見つめる子の育成を目指した授業づくりを行う。②朝スタ・家庭学習の充実による基礎学力の向上。③資質・能力をベースとした評価について、重点研などでも取り上げ、学習評価についての共通理解を図り、実践していく。
担当 教務部	
豊かな心	①学年やブロックで連携しながら子どもたちの実態をつかみ、子ども自らが問題意識をもって学習や生活に取り組む姿を育む。②全教育課程で、子どもたちの心を育てていくことを意識できるよう、道徳教育全体計画と別業を活用する。③道徳科の授業づくりや評価について職員が研鑽できるよう、研修や授業参観を計画する。
担当 道徳部	
健やかな体	①体力づくりとともに仲間づくりを推進し、体と心の健康の保持・増進・向上をめざす。②楽しく進んで運動し、バランスのよい体力づくりに取り組む。③仲間と一緒に体を動かすことを通して、自分のよさ・様々な人やものよさをとらえるようにする。
担当 体育部	
児童生徒指導	①学年・ブロック・級外など多くの教職員の目で、多面的に子どもたちを見とり、打ち合わせなどで情報を共有する。ブロック研では、児童指導に係る事案をとりあげ、対応を確認する。②児童指導部会では、各学年の様子について伝え合い、スタンダードについてもさらに見直しを進めていく。
担当 児童指導部	
特別支援教育	①一般学級での効果的な特別支援教育における学校体制の見直し②年6回の特別支援全体会で共通理解を図り、加筆・修正・活用を進める。③研修会やケース会議を設定し、必要に応じて関連機関との連携を図りながら、子ども・保護者の思いや願いを取り入れた個別の指導計画・教育支援計画を作成する。
担当 特別支援委員会	
安全管理	①コロナ禍の状況も鑑みながら、避難訓練を計画的・段階的に実施する。指導内容と振り返り(職員・児童)を大切に、危機対応力を高めていく。関係各機関との協力も積極的に行う。②大規模災害の発生を想定し、防災意識を高めるとともに、学校・家庭・地域の防災体制の共通理解を図る。
担当 安全教育委員会	
学校運営協議会	①これまで進めてきた挨拶指導の成果を生かし、今年度は「横浜1あいさつが上手な児童の育成」を目指す。②「あいさつ」「読書」「体力アップ」という本校の重点項目を推進していくために、保護者・地域の方々と共に、継続・改善などについて意見交換し、具体的な取り組みへとつなげる。
担当 総務部	
いじめへの対応	①いじめなどの問題行動に対して、組織的対応と初期対応を日常化する。事案が発生した際には、複数名による聞き取りや事実の確認と記録など手厚い対応を徹底する。②YPや市のいじめアンケート、学校独自の毎月生活アンケートを活用し、一人ひとりの子どもにきめ細やかな支援ができるようにする。
担当 児童指導部	
人材育成・組織運営(働き方改革)	①コロナ禍の対策をし、早期に計画・対応することで、学校運営を円滑に進めていけるようにする。②分掌運営が効果的に行われるように、前年度経営反省をまとめたものを配付し、年度当初に計画を立てられるようにした。③共通理解を図るための週2回の打ち合わせ・ミラ임을活用した連絡を充実させ、時間のスリム化を図る。
担当 総務部	